

気になる水循環(16) ～水循環 Q&A～

水循環Q&Aでは、流域のみなさんから寄せられた身近な質問にお答えします。今号では、寄せられた質問の中から、2つをピックアップして回答します。



Q1 水循環は自然と元に戻るものではないのでしょうか？

A1 水はいろいろな形で循環していますが、市街地においては、もともとあった自然系の流れと人が整備したインフラ施設を流れる人工系の流れに分けられます。

自然系の流れでは、雨水は地中に浸みこみ、湧き水として川に流れ出てきて、海に流れ出ていきます。一方、人工的な流れでは、水道管をとおして各家庭で使用され、その後下水道処理場へ行き、きれいにしてから川に流れるなど、自然とは異なった循環をしています。

都市化が進むにつれて人工系の流れが増えてきて、もともとあった自然系の流れは失われつつあります。

Q2 水循環再生を進める上で、現在、どのような課題がありますか？

A2 もともとあった水循環を再生する上での課題としては、水の質や量・生態系などを保つことや取り戻すこと、地下水の量・水源地を保つことなどがあります。これらは都県、複数の市町村を含む流域全体において解決していくことが必要なものです。そのため、流域にお住まいのみなさんや行政機関等の中で地域の水循環の課題、将来などを共有して、一体となって課題に取り組むことが必要となっています。みなさんも行政と一緒にってどのようなことができるかを考えてみましょう！

川まつり開催報告 2018年5月27日(日) 第20回 空堀川・川まつり

「空堀川・川まつり」が東村山市・からぼり広場で開催されました。平成9年に行われた久米川～浄水橋間約1kmの河川改修を記念してはじまった川まつりも今年で記念すべき第20回目をむかえました。出店やフリーマーケットに加え、川に関するパネル展のブースもあり、多くの家族連れが談笑しながら眺めていました。また、第20回記念抽選会が開催され、豪華賞品を目の前に多くの人が抽選の様子を見守っていました。浄水橋上流の第二会場ではカヌー教室、お魚調査、消防隊の放水など川に関するイベントが開催され、午後からは恒例のおモチャのカモレースや丸太切り、子ども昔遊びなど大盛況でした。きれいな空堀川を保つため、地域住民の交流の場として、今後も継続してほしいイベントだと思いました。

事務局 取材担当者



事務局だより

第1回連絡会を開催しました

5月29日(火)に第1回新河岸川流域川づくり連絡会を開催しました。第1回連絡会では、今年度清瀬市で開催を予定している「第14回川でつながる発表会」の開催時期や企画内容を協議しました。

また、連絡会後半の勉強会では、「新河岸川水系身近な川の一斉調査」の実施前に法政大学水文地理学研究室の小寺先生から適切な水質調査の方法などのご説明をいただきました。



第1回連絡会での協議の様子

川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、今年度は4回の開催を予定しています。参加希望の方は下記の連絡先までお問い合わせください。

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各地域での活動報告やイベント情報を募集しています。川に関する身近な情報などをお手紙またはFAXなどで下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index044.html

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん



発行●新河岸川流域川づくり連絡会(荒川下流河川事務所 調査課内)
住所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日●平成30年(2018)7月6日

VOL. 86



切り絵 毛利将範

目次

- P2～3 平成30年度活動予定・川まつり開催案内
- P4 連載：気になる水循環(16)～水循環 Q&A～
川まつり開催報告、事務局だより
- P5 特集：「台風に備えよう!～台風の時に
気をつけること～」

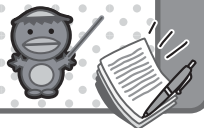
なつ おとず せみ こえ 夏が訪れ蝉の声もひときわ高くなる季節となりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。今年とし なつ じもと かわ かいさい かぞく 年の夏も地元で川まつりが開催されます。ご家族 ともだち かわ すず やお友達とそろって川へ涼みにいくのはいかがでしょう。

こんごう なかめん しんがしがわりゆういき かいさい 今号の中面では、新河岸川流域で開催される かわ しょうかい とくしゅう き 川まつりを紹介します。特集では、これからの季節 せつ く たいふう そな こうどう 節に来る台風への備えや、とるべき行動について けいさい たいふう き とき 掲載しています。台風が来た時にあわてないように、ぜひお読みください。

新河岸川流域

平成30年度 年間活動予定

平成30年7月～平成31年3月

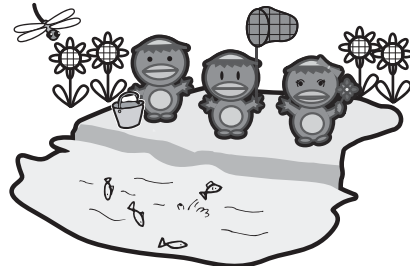


平成30年度は、新河岸川流域の住民へ、治水対策や健全な水循環の維持に関する知識や認識などの共有を行うとともに、流域内にて川づくりに関するさまざまな取り組みを行っている行政・市民団体・川の専門家などの連携を強める活動を行う予定です。具体的には新河岸川流域にて活動を行っている市民団体の代表者が出席し、意見交換などを行う「新河岸川流域川づくり連絡会」や流域内の学生や市民団体などが普段の活動成果などを発表する「川でつながる発表会」の開催を予定しています。また、定期的に発行している「新河岸川流域しんぶん里川」を通じて、市民団体が主体となって行っている「川まつり」の実施内容、総合治水や水循環に関する知識などの普及を行っていく予定です。



2017年黒目川（東久留米市）の川まつりの様子 2017年柳瀬川（清瀬市）の川まつりの様子

川づくり連絡会の年間活動	
7月	新河岸川流域しんぶん「里川」86号発行
8月	第2回新河岸川流域川づくり連絡会
10月	新河岸川流域しんぶん「里川」87号発行
10~11月	第3回新河岸川流域川づくり連絡会
12~2月	第14回新河岸川流域川でつながる発表会
2月	第4回新河岸川流域川づくり連絡会
3月	新河岸川流域しんぶん「里川」88号発行



開催日程

新河岸川流域 川まつり

1 東川 (所沢市)

「東川・川まつり (身近な川しらべ)」
日時：7月16日(月・祝) 9:00-12:00 雨天中止(小雨決行)
場所：川端橋付近 ※所沢市立東中学校(所沢市大字牛沼605-1)前
参加費：無料
駐車場：所沢市立東中学校

- 内容：清掃、水質調査、魚類調査、水生生物調査、カヌー・ゴムボート
- 持ち物：帽子、水筒、水に濡れてもよい服装、川に入れる運動靴
※サンダル、ゴムぞうり不可
- 申込：不要
- 主催：東川を愛する会
- 問合せ先：090-3310-8392 (手島)



2 黒目川 (東久留米市)

「第25回わくわく川清掃&川あそび～今年も黒目川で遊ぼうよ!～」
日時：7月21日(土) 10:00-16:00 雨天中止(小雨決行)
場所：小山れんげ公園 (東久留米市小山2-1)
参加費：無料
駐車場：なし

- 内容：黒目川の河川清掃、たいこ演奏、消防イベント、川あそび(水がき講座、タイヤボート乗り、竹の一本橋渡り、スイカ割りなど)、水がき大賞表彰
- 持ち物：汚れてもよい服装、川に入れる運動靴
- 申込：不要
- 主催：わくわく川清掃&川あそび実行委員会
- 問合せ先：042-472-0882 または 090-2642-9442 (菅谷)



3 柳瀬川 (清瀬市)

「2018 きよせの環境・川まつり」
日時：7月21日(土) 10:00-15:00 川遊び受付 9:00 から 雨天中止(小雨決行)
場所：清瀬市台運動広場(清瀬市下宿1-1)
参加費：無料
駐車場：なし

- 内容：<川の中で>ウォーターバレーン
<河畔で>川柳コンテスト、柳瀬川流域(金山地区)自然観察会、スタンプラリー、魚の展示、樹木のCO2吸収量の測定、清瀬の今昔パネル展示など
- 持ち物：不要
- 申込：ウォーターバレーンについては申込が必要
※整理券発行は9:00～なくなり次第、申込先は問合せ先と同様
- 主催：きよせの環境・川まつり実行委員会
- 問合せ先：042-492-5111 (清瀬市都市整備部 水と緑の環境課)



4 柳瀬川 (志木市)

「柳瀬川であそぼう」
日時：7月29日(日) 9:00-12:00 雨天中止(小雨決行)
場所：柳瀬川の土手・河川敷 ※志木市立志木中学校(志木市柏町3-2-2)前
参加費：300円/人(保護者及び会員は無料)
駐車場：なし

- 内容：笹舟流し、魚類調査、水生生物調査、川渡りなど
- 持ち物：帽子、飲み物、川に入れる運動靴
※長靴、サンダル不可
- 申込：小学生以下は申込必要。小学生は志木市在住で定員20名(保護者同伴が必要)。ハガキ or メールに児童氏名、学校名・学年、保護者氏名、住所、電話番号を記入の上、7月18日(水)までに申込(当日消印有効)
申込先：〒353-0006 志木市館1-1-2-108 NPO法人エコシティ志木 Eメール：eco-shiki@ff-e-mansion.com
※申込多数の場合は抽選を行います。
- 主催：NPO 法人エコシティ志木
- 問合せ先：070-6661-9559 (青木)



5 北川 (東村山市)

「第23回北山わんぱく夏まつり」
日時：8月5日(日) 10:00-16:00 雨天中止
場所：北山公園(東村山市野口町4-50)、北川、八国山
参加費：無料
駐車場：なし

- 内容：カヌー遊び、ザリガニ釣り、八国山虫とりハイク、北川ウォーク(魚とり)、北川水族館、木工細工、出店など
- 持ち物：カヌー遊びは汚れてもよい服装、北川ウォーク(魚とり)は川に入れる運動靴
- 申込：不要
- 主催：第23回北山わんぱく夏まつり実行委員会
- 問合せ先：042-395-2584 (吉田)



6 黒目川 (新座市)

「第20回わいわい川遊び『アユの棲む黒目川をきれいにして川で遊ぼう』」
日時：8月5日(日) 10:00-15:30 雨天中止(小雨決行)
場所：栗原1丁目公園(新座市栗原1-1-3地先)
参加費：無料
駐車場：なし

- 内容：水質調査、魚類調査、川掃除、魚とり教室、舟あそび、スイカ割り、こども食堂(お昼ご飯)
- 持ち物：汚れてもよい服装、川に入れる運動靴
- 申込：こども食堂に参加する人は高邑まで事前連絡が必要
- 主催：黒目川流域川づくり懇談会
- 問合せ先：042-456-8869 または 090-6497-5737 (高邑)



7 黒目川 (朝霞市)

「黒目川・川まつり こどももおとなもハンディのある人もない人も」
日時：8月19日(日) 9:45-14:00 雨天中止(小雨決行)
場所：新高橋付近 ※溝沼郵便局横(朝霞市溝沼482-5)
参加費：無料
駐車場：なし

- 内容：水質調査、魚類調査、川掃除、水がき講座(魚とり教室)、舟あそび(ゴムボートなど)、スイカ割り
- 持ち物：帽子、川に入れる運動靴
※長靴、サンダル不可
- 申込：不要
- 主催：黒目川流域川まつり実行委員会
- 問合せ先：090-9311-7932 (藤井)



※流域内ではこの他にも、さまざまな活動が実施されています。

台風に備えよう！～台風の時に気をつけること～



新河岸川流域の台風被害とは？

新河岸川流域は昔に比べてコンクリートでおおわれた場所が多くなってきました。昔は、雨水が地面に浸みこんで時間をかけて川に流れていきました。近年では地面がコンクリートで舗装され、水が浸みこまないため、雨水が地表をつたい一気に川に流れこみます。そのため、川の水位が急激に上昇します。平成29年台風21号でも流域内の川では、水があふれそうになりました。台風が発生するこれからの季節、流域で安心して生活できるように、台風の時に気をつけることを学びましょう！

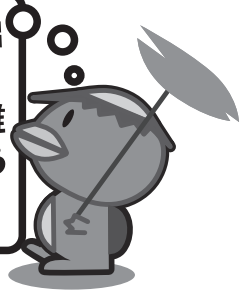
台風の時に気をつけることは？

台風の時、川の近くでは多くの危険があります。流域内の自治体からは危険度に応じて、避難に関する情報が出されるので、台風が近づいてきたらこまめにTV・ラジオ・スマホなどをチェックし、防災無線・広報車の放送に注意しましょう！



雨の状況は
XRAINでチェック！

危険と思ったら、避難情報が出る前でも、自分の判断で避難しましょう！自宅から逃げるのが難しい人は、自宅の2階などできるだけ高い所に移動しましょう！

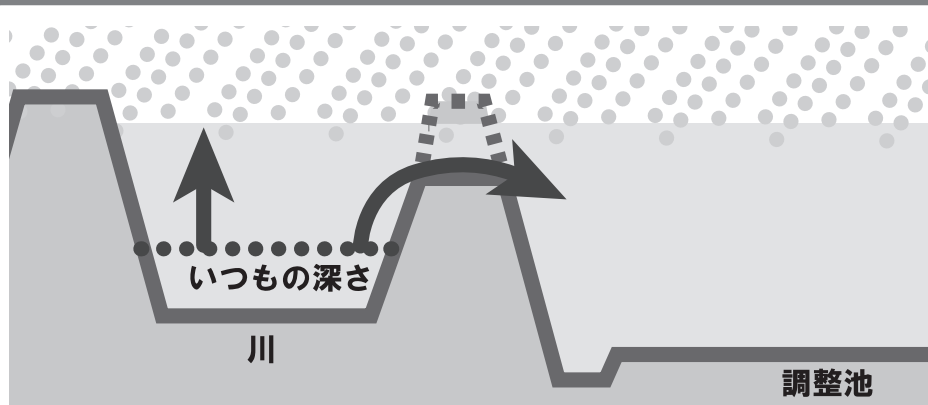


XRAIN（国土交通省）XRAIN URL：<http://www.river.go.jp/x/xmn0107010.php>

行政が行っている取り組みとは？

大雨による被害を減らすために、行政は様々な施設を日頃から整備するなど、多くの取り組みを行っています。その取り組みについて一部紹介します！

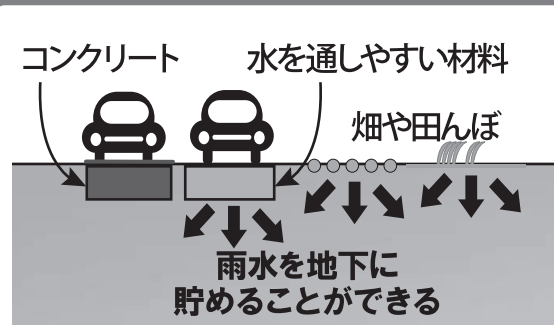
●調節池の整備



調節池のしくみ

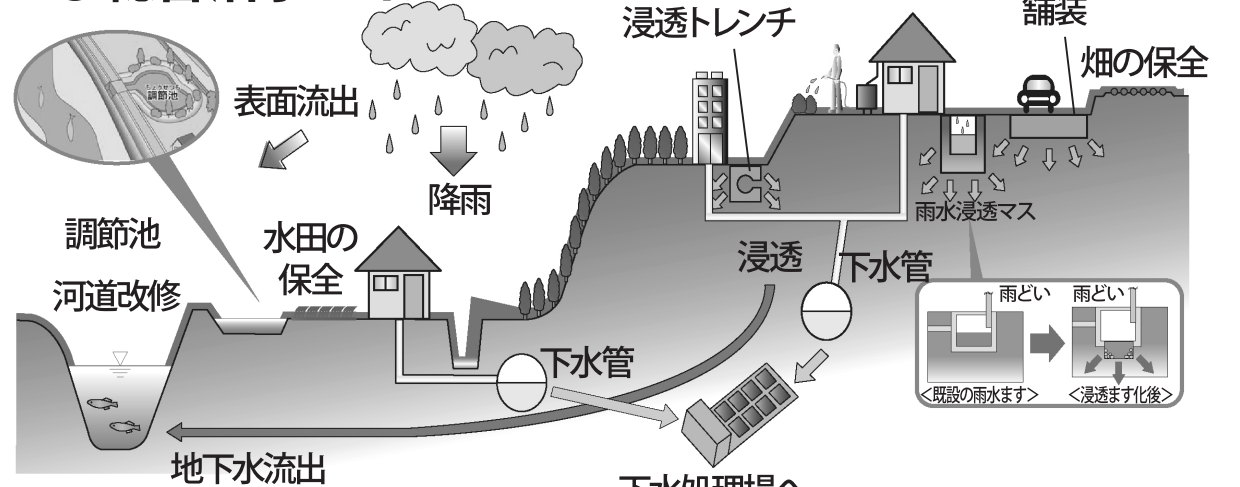
大雨が降って、川の水が多くなった時に、川の近くのスペース（調節池）に水を一時的に貯めて、川の水位が急に上がらないようにします。

●透水性舗装、田畑・緑地保全

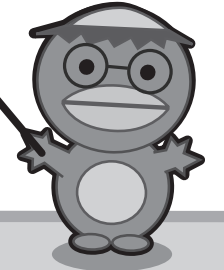


雨水を地面に浸みこませるために、水を通しやすい材料で道路を作っています。また畑や田んぼを守ることで、水を通しやすい地面を残しています。

●総合治水のイメージ

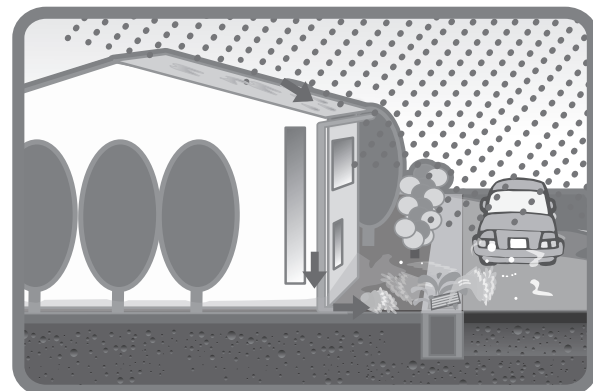


流域全体のさまざまな取り組みによって、雨水を貯めて大雨による災害を減らす考え方を「総合治水」と言うんだよ！



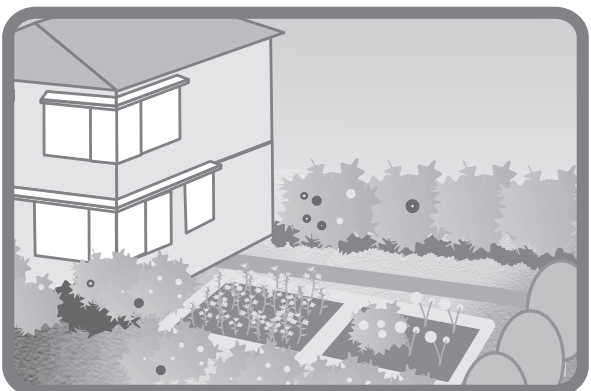
みんなができる大雨の被害を減らす工夫とは？

行政が大雨の被害を減らすために多くの取り組みを進めています。みなさんにもできることもたくさんあります。自分でもできそうなことを見つけてぜひ取り組んでみましょう！



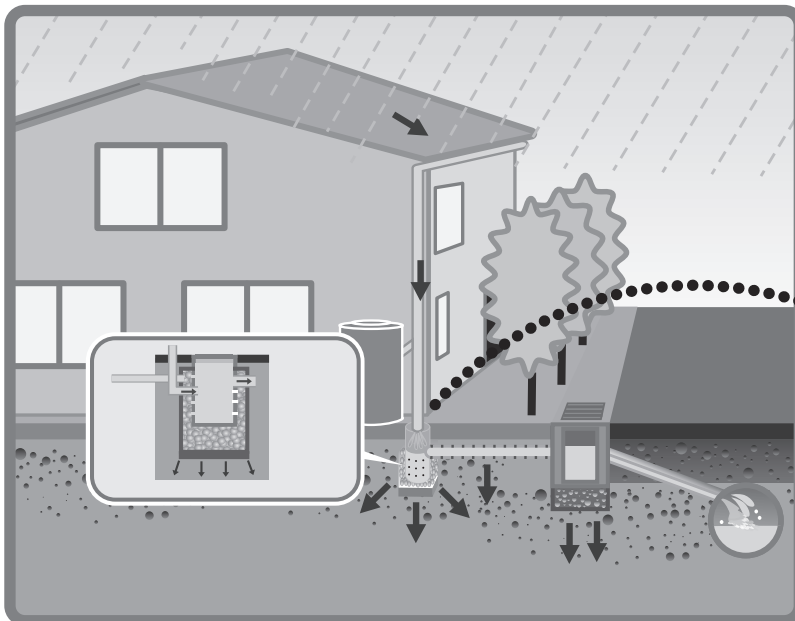
【側溝の掃除】

側溝にゴミがたまると、雨水が流れにくくなります。日頃からこまめに掃除をしましょう。



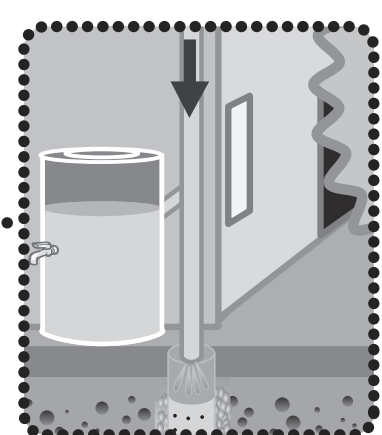
【自宅に緑を増やす】

庭に花壇を作ったり、駐車場を芝生にしたり、自宅に緑を増やすことで、水を通しやすい地面が増えます。



【雨水浸透マスの自宅への設置】

屋根に降った雨水を地中に設置した雨水浸透マスに集め、時間をかけて土に浸みこませます。それにより、雨水を川にすぐ流さないようにします。



【雨水貯留タンクの設置】

屋根に降った雨水を雨水貯留タンクに集めて貯めることで、雨水を川にすぐ流さないようにします。貯めた水を花への水やりなどに使うことで節水もできます。

雨水浸透マスや雨水貯留タンクの設置に対して、自治体から補助がもらえる場合もあるよ！くわしくは市町ホームページをチェック！

